

ビジネスと人権問題

【チョコレート産業】

目次

- ・ チョコレート産業とカカオの生産
- ・ カカオ農場における児童労働の状況
- ・ チョコレートを扱う企業の対応
- ・ 変わらぬ児童労働
- ・ 大企業によるフェアトレードの実情

The logo for Transeed, featuring the word "Transeed" in white text on a green rectangular background.

Copyright © 2013 Transeed Group
All right reserved.
<http://transeed.jp>

トランシード・グループによるレポートは、企業や政府による人権侵害の情報を提供する目的で作成されています。

日本語での情報が限られる分野で、英語による文献、ウェブサイトを中心に参照し、新たな情報を提供することを目指しています。

・チョコレート産業とカカオの生産

チョコレートは原料であるカカオから作られます。カカオの年間生産量は世界で約350万トン。その内、約59%が西アフリカのコートジボアールとガーナで生産されています。世界中で、5千万人に近い人々がココア産業で生計を立てています。[1]

カカオ生産に従事する農家の多くは一日2ドル以下で生活をしています。[1] 例えばガーナにおけるカカオ農家の一日の平均収入は0.6ドル以下です。[2]

・カカオ農場における児童労働の状況

コートジボアールやガーナのカカオ農園では多くの子供が強制的に、無休で働かされています。2000年以降、各国のメディアでこの児童労働の問題が取り上げられ、世間の注目を集めました。[3]

例えば2001年のKnight Ridder Newspapersの記事では、コートジボアールのカカオ農園で働くアリという少年の例が紹介されています。

12才のアリは、自転車のプレゼントと、貧しい両親への年150ドルの支払いを約束され、マリ共和国からコートジボアールのカカオ農園に働きに来ました。彼はそこで給料を払われることもなく、1年半のあいだ働き続けています。

仕事はきつく、自分の身長より高いカカオ豆の詰まった重い袋を運ばなければいけません。袋を落とすと、農園のオーナーに容赦なく殴られます。

夜明けから日没まで12時間働き、夜は約7メートル四方の経まい部屋で他の19人の児童たちと共に過ごします。外に出ることは許されず、外側から鍵をかけられます。

そんな生活を続けていると、ある日、農園のオーナーが子供たちに言いました。「私はおまえたちを一人35ドルで買ったんだ。だからそれに見合う分、もっと働け」、と。

こうしてカカオ農園で働くアリは、まだチョコレートを食べたことがなく、

それがどんなものか知りません。[4]

・チョコレート扱う企業の対応

こうした報道や世間の注目を受けて、2001年にはアメリカのいくつかのチョコレートを取り扱う企業が、ハーキン・イーグル・プロトコルと呼ばれるカカオの生産・購入に関するいくつかの目標を制定しました。

これはコートジボアールとガーナにおいて、児童労働をなくすために定められた目標で、ネスレやハーシーズ、マーズといった企業が参加しました。具体的な目標としては、カカオが児童労働を使わずに生産されたと証明することのできるシステムを、2005年までに構築することが掲げられました。[3][5]しかし結局、2013年現在までこのような認証システムは作られていません。[6][7]

・変わらぬ児童労働

今もなお、コートジボアールやガーナでは人身売買による強制的な児童労働が行われています。

2010年のドキュメンタリー映画「The Dark Side of Chocolate」では人身売買の被害にあいかけた少女や、カカオ農園に売られて働かされていた少年たちのインタビューが出てきます。映画の中で、あるカカオ農園のオーナーが、230ユーロで子供を外国から連れてきて働かせることが出来ると証言しています。[8]

Fair Labour Organization (2011) の調査では、ネスレにカカオを供給している農園で児童労働が行われていることを確認しています。また報告書では「児童労働をなくすために、企業が真剣に取り組まれているとはとても言えない」と述べられています。[9]

2009年、インターポールはコートジボアールで地元警察とともに、カカオ農園で強制的に働かされていた54人の子供を救出しました。[10]ガーナやブルキナファソでも同様の作戦が行われ、人身売買の被害にあった子供たちが毎

回100人以上救い出されています。[11]

現在、一体どれだけの子供たちがカカオ農園で働いているのか、どれだけの規模で子供の人身売買が行われているか、正確に分かっていません。しかし International Labor Organizationは、20万から80万人の子供が、西アフリカで人身売買の被害にあっていると推定しています。[12]

・大企業によるフェアトレードの実情

コートジボアールやガーナを含め、世界中にフェアトレード・インターナショナル（FLO）によるフェアトレード認証を受けたカカオ農園があります。フェアトレード認証を受けた農園は、児童労働を使ってつくられたカカオを購入しないと誓約し、第三者機関による監査を受けなくてはなりません。

近年チョコレートを扱う大企業はこういった農園組合からカカオ豆を買い、フェアトレード認証製品を販売し始めました。こういった大企業にはネスレ、モンデリーズ（キャドバリーの親会社）、マーズなどがあります。[13]

しかし大企業はフェアトレード製品を販売する一方、従来通り何の認証も得ていない商品を販売し続けています。例えばモンデリーズ社が2011年に使用したカカオ全体の内、FLOを含むなんらかの第三者機関によって児童労働を使用していないと認証されたものは8%です。同様に2011年、ネスレ社が使用したカカオ全体の内、認証済みのものは約1%です。[14]

消費者はなるべく、フェアトレード製品のみを扱う企業からチョコレートを購入することが望ましいといえるでしょう。そうすればより多くの企業が従来の商取引を縮小し、フェアトレード製品を積極的に販売することにつながります。

-
1. Fairtrade Foundation. (2011) Fairtrade and Cocoa. p.2. http://www.fairtrade.org.uk/includes/documents/cm_docs/2011/C/Cocoa%20Briefing%20FINAL%208Sept11.pdf

2. Jens Hainmueller, Michael J. Hiscox, Maja Tampe. (2011) Sustainable Development for Cocoa Farmers in Ghana. p.3. MIT and Harvard University. http://www.responsibleagroinvestment.org/rai/sites/responsibleagroinvestment.org/files/Ghana%20Cocoa%20Baseline%20Report_Jan%202011.pdf
3. Payson Center for International Development and Technology Transfer (2011). Oversight of Public and Private Initiatives to Eliminate the Worst Forms of Child Labor in the Cocoa Sector of Côte d'Ivoire and Ghana. p.13. p. 27. Tulane University. <http://www.childlabor-payson.org/Tulane%20Final%20Report.pdf>
4. Sudarsan Raghavan and Sumana Chatterjee. (2001) A Taste of Slavery. *Knight Ridder Newspapers*. <http://vision.ucsd.edu/%7Ekbranson/stopchocolateslavery/atasteofslavery.html>
5. International Cocoa Initiative. (2001) Protocol for the growing and processing of cocoa beans and their derivative products in a manner that complies with ILO Convention 182 concerning the prohibition and immediate action for the elimination of the worst forms of child labor <http://www.cocoainitiative.org/images/stories/pdf/harkin%20engel%20protocol.pdf>
6. Tricia Escobedo. (2011) The Human Cost of Chocolate. CNN <http://thecnnfreedomproject.blogs.cnn.com/2011/09/19/the-human-cost-of-chocolate/>
7. 認証の枠組みは現在International Cocoa Initiativeによって設立が試みられていると発表されている。 International Cocoa Initiative (2010) Framework of Action to Support Implementation of the Harkin-Engel Protocol. http://www.cocoainitiative.org/images/stories/Harkin-Engel/Cocoa_Framework_of_Action_9-12-10_Final.pdf
8. Miki Mistrati, U. Roberto Romano. (2010) The Dark Side of Chocolate. Bastard Film & TV <http://thedarksideofchocolate.org>
9. Fair Labour Organization. (2011) Sustainable Management of Nestlé's Cocoa Supply Chain in the Ivory Coast—Focus on Labor Standards. pp. 41-42. http://www.fairlabor.org/sites/default/files/documents/reports/cocoa-report-final_0.pdf
10. Interpol. (2009) Scores of children rescued from organized slave labour in INTERPOL-led operation conducted by Côte d'Ivoire police. http://www.fairlabor.org/sites/default/files/documents/reports/cocoa-report-final_0.pdf
11. Interpol. (2010) Burkina Faso police rescue more than 100 child trafficking victims during INTERPOL-supported operation. <http://www.interpol.int/News-and-media/News-media-releases/2010/PR090>
Interpol. (2010) Gabon police rescue 140 victims of child trafficking and labour in INTERPOL co-ordinated operation. <http://www.interpol.int/>

- News-and-media/News-media-releases/2010/PR109 Interpol. (2011) Operation Bia II sees Ghana police rescue 116 children from forced labour in fishing industry with INTERPOL support. <http://www.interpol.int/News-and-media/News-media-releases/2011/PR044>
12. Fairtrade International. (2010) WRITTEN RESPONSE TO BBC PANORAMA p.2 http://news.bbc.co.uk/nol/shared/bsp/hi/pdfs/fairtradepanorama_24_03_10.pdf
 13. Harry Wallop. (2012) Maltesers go Fairtrade. The Telegraph. <http://www.telegraph.co.uk/foodanddrink/foodanddrinknews/8789954/Maltesers-go-Fairtrade.html>
 14. Tropical Commodity Coalition. (2012) Cocoa Barometer 2012. p.11. http://www.cocoabarometer.org/Cocoa_Barometer/Download_files/Cocoa%20Barometer%202012%20Low%20Res.pdf